

令和6年度「全国体力・運動能力、運動習慣等調査」結果検証

学校の概要

城北小	学校	児童数	41
-----	----	-----	----

平均値

5年生	握力	上体起こし	長座体前屈	反復横とび	20m シャトルラン	50m走	立ち幅とび	ソフトボール 投げ	体力合計点
男子	16.00	18.71	33.95	40.05	52.81	9.49	148.60	28.24	54.05
大阪市	15.78	19.09	32.72	38.56	45.05	9.52	147.96	20.45	51.13
全国	16.01	19.19	33.79	40.66	46.90	9.50	150.42	20.75	52.53
女子	15.63	17.30	38.20	39.11	35.75	10.05	135.35	11.90	52.50
大阪市	15.64	18.06	37.62	36.76	34.65	9.83	139.56	12.71	52.47
全国	15.77	18.16	38.19	38.70	36.59	9.77	143.13	13.15	53.92

結果の概要

体力合計点においては、男子は54.05点、女子は52.50点となり、男子は大阪市平均および全国平均を上回る結果となった。女子は全国平均を上回ることはできなかったものの、大阪市平均を上回る結果となった。男子は、上体起こし以外のすべての種目で大阪市平均を上回っており、長座体前屈、20mシャトルラン、50m走、ソフトボール投げは全国平均を上回る結果となった。女子は、長座体前屈と反復横跳びで大阪市平均および全国平均を上回る結果となった。

質問項目「運動が好き」について、肯定的な回答をした児童は、男子が90.5%、女子が95%で、どちらも9割を超える結果となった。また、1週間の総運動時間が60分未満の児童の割合は、男子が0%、女子が20%であり、普段の運動習慣が体力に密接に関係していることがよくわかる結果となった。

これまでの取組の成果と今後取り組むべき課題

令和5年度に体育専科を導入し、専門性のある教員が児童の興味関心を引きながら、一貫した指導を行ったことで、一定の成果をあげることができた。令和6年度は体育専科の実施を見送ったが、体育科に関する専門的な研修を実施したり、外部講師の招へいを進めたりすることで、授業改善を柱に取り組むことができた。

運動習慣をつけるために、これまでと同様に運動強調週間に取り組んだ。特になわとび運動については、なわとび台の常設やリズムなわとび、横並び交互二人とびなど、新たな取組を計画・実施し、これまでに以上に活性化を図った。

今後は、運動場や体育館の環境整備を進め、休み時間に児童自らが運動できるような外遊びの活性化を行っていく。さらに、基本的な生活習慣を身につけさせるために、「早寝・早起き・朝ご飯」の大切さに関する手紙を配布したり、運動習慣作りのために簡単な運動の仕方をホームページ等で紹介したりして、家庭への啓発を図っていく。